

コンプライアンス研修(管理者) ～ ハラスメント防止を人間関係の円滑化につなげる ～

研修の目的

- ・コンプライアンスの側面から、ハラスメント対策の必要性を共有します。
- ・「言うてはいけない」というネガティブアプローチではなく、「何ができるか」という前向きな言動に繋げるための具体的な実践方法を学びます。
- ・管理者の情報共有(いわゆるガス抜きと気づき)の機会にもなります。

時間	カリキュラム	進め方	ポイント
9:00	1. 安心安全な職場とは 1) 昨今のトラブル例 2) 社会的動向と法律改正 3) 安全配慮義務と指導教育義務	講義	◎トラブルが身近に起こりうることを理解し、法律改正の背景を知る。 管理者として、配慮と指導の双方を行うことを理解する。
	2. ハラスメント防止のために 1) ハラスメントの概要理解 2) 労災との関係 3) セクシャル・ハラスメント 4) パワー・ハラスメント 5) マタニティ・ハラスメント 6) リーダーシップスタイル	講義 ワーク ディスカッション	◎事例を用いて、各ハラスメントについて考える。労災認定との関係を知り、基準の考え方を学ぶ。嫌がらせと指導の線引きの方法を学び、ワークにより実践する。自分のリーダーとしての傾向を知り、良さの活かし方を考える。
12:00	3. ハラスメント対応 1) 相談されたとき 2) 場面に同席した場合 3) 日頃の心掛けと効果	講義 ワーク ディスカッション	◎ハラスメントに対応する方法を学び、日常業務において未然防止ができることや、初期対応による効果を検討し、学びを実践に繋げる。

コンプライアンス研修(一般職) ～ ハラスメント防止を人間関係の円滑化につなげる ～

研修の目的

- ・コンプライアンスの側面から、ハラスメント対策の必要性を共有します。
- ・「言うてはいけない」というネガティブアプローチではなく、「何ができるか」という前向きな言動に繋げるための具体的な実践方法を学びます。

時間	カリキュラム	進め方	ポイント
9:00	1. 安心安全な職場とは 1) 昨今のトラブル例 2) 社会的動向と法律改正 3) 安全配慮義務と指導教育義務 2. ハラスメント防止のために 1) ハラスメントの概要理解 2) セクシャル・ハラスメント 3) パワー・ハラスメント 4) マタニティ・ハラスメント 5) 防止のために(交流分析)	講義 講義・ワーク	◎トラブルが身近に起こりうることを理解し、法律改正の背景を知る。 企業人として、配慮と指導の双方があることを理解する。 ◎事例を用いて、各ハラスメントについて考える。嫌がらせと指導の線引き、受け取り方の違いを学ぶ。交流分析により自分の傾向や相手との接し方を検討し、ワークにより実践する。
12:00	3. ハラスメント対応 1) 相談するとき 2) 場面に同席した場合 3) 日頃の心掛けと効果	講義・ワーク	◎相談の必要性を知り、日常業務において未然防止が良好なコミュニケーションに繋がることや、初期対応による効果を検討し、学びを実践に導く。